

災害時の倉敷市真備地区での地理空間情報活用と中国地域への展開

一般社団法人 データクレイドル

キーワード

地理院地図、オープンデータ、防災、GIS、教育

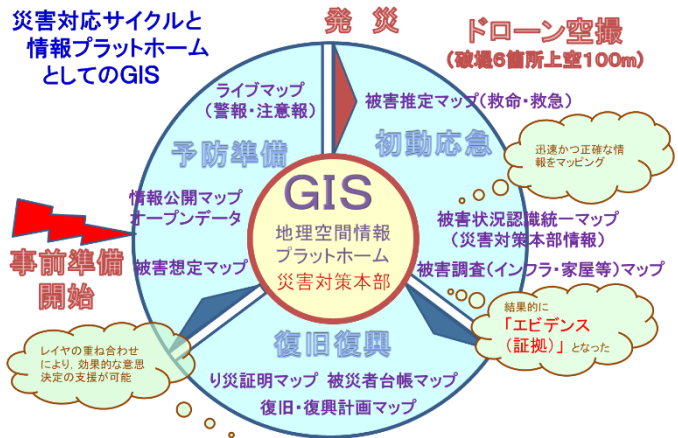
災害時のフェーズに応じた地理空間情報の提供

被災状況調査に活用

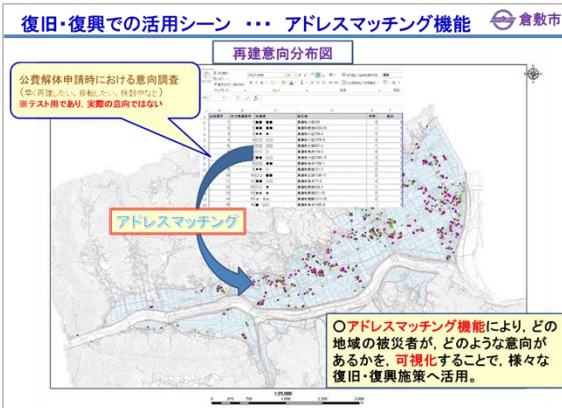


国管理河川の小田川をはじめ、県管理河川の末政川・高馬川・真谷川において堤防が8か所で決壊・7か所の一部損壊・損傷し、約1,200ヘクタールが完全に水没した

災害情報の見える化と共有化 迅速・正確



復旧復興活動に活用

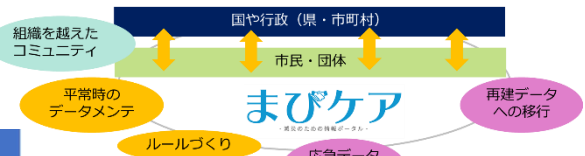


ボランティアも位置付で情報発信



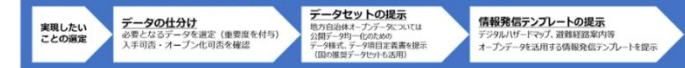
地理空間情報の活用を支える「場」 データ分析サロン

平常時 応急時 復旧・復興



災害時のオープンデータユースケースを中国地域に展開

倉敷市真備地区の浸水被害を事例として防災(水害)分野のオープンデータ構築データセットテンプレートを提示



実施したいこと	データの仕分け (イメージ)				データセット (対象)
	必要となるデータの選定	入手可否	オープン化可否	地方自治体	
事前	居住地の安全性確認	○	○	○	○
発生時	避難所情報の充実	○	○	○	○
事後	日常生活の確保	○	○	○	○

情報発信テンプレート (イメージ)
1. 緊急避難者への誘導
2. 避難所情報の提供 (住所・避難所までのルート)
3. 避難所までのルート

